

建築物の名称																																
性能項目等	確認項目	設計内容説明欄			設計内容 確認欄																											
		項目	設計内容	記載図書																												
1.構造躯体等の劣化対策	セメント	セメントの種類	ポルトランドセメント(JIS R 5210) (普通 中庸熱 低熱 その他) フライアッシュセメント(JIS R 5213) 高炉セメント(JIS R 5211)		構造設計 標準仕様																											
	コンクリートの水セメント比	水セメント比	・ コンクリートの種類 (普通コンクリート 軽量コンクリート その他) ・ 水セメント比 (% 以下)		構造設計 標準仕様																											
		最小かぶり厚さ	・ 最小かぶり厚さ <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">部位</th> <th colspan="2">最小かぶり厚さ*</th> </tr> <tr> <th>mm</th> <th>mm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">直接土に接しない部分</td> <td rowspan="2">屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁</td> <td>屋内</td> <td>20 mm 以上</td> <td>30 mm 以上</td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>30 mm 以上</td> <td>40 mm 以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">柱・梁・耐力壁</td> <td>屋内</td> <td>30 mm 以上</td> <td>40 mm 以上</td> </tr> <tr> <td>屋外</td> <td>40 mm 以上</td> <td>50 mm 以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">直接土に接する部分</td> <td>柱・梁・床スラブ・耐力壁</td> <td>40 mm 以上</td> <td>50 mm 以上</td> </tr> <tr> <td>基礎・擁壁</td> <td>60 mm 以上</td> <td>70 mm 以上</td> </tr> </tbody> </table> *:最小かぶり厚は、目地底までの距離をいう。 ・ 外壁仕上げ タイル貼 モルタル塗 外断熱工法 その他 ()		部位		最小かぶり厚さ*		mm	mm	直接土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋内	20 mm 以上	30 mm 以上	屋外	30 mm 以上	40 mm 以上	柱・梁・耐力壁	屋内	30 mm 以上	40 mm 以上	屋外	40 mm 以上	50 mm 以上	直接土に接する部分	柱・梁・床スラブ・耐力壁	40 mm 以上	50 mm 以上	基礎・擁壁	60 mm 以上	70 mm 以上
	部位		最小かぶり厚さ*																													
			mm	mm																												
	直接土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋内	20 mm 以上	30 mm 以上																											
			屋外	30 mm 以上	40 mm 以上																											
柱・梁・耐力壁		屋内	30 mm 以上	40 mm 以上																												
		屋外	40 mm 以上	50 mm 以上																												
直接土に接する部分	柱・梁・床スラブ・耐力壁	40 mm 以上	50 mm 以上																													
	基礎・擁壁	60 mm 以上	70 mm 以上																													
部材の設計・鉄筋	設計かぶり厚さ	・ 設計かぶり厚さ = 最小かぶり厚さ + ()mm		構造配筋 標準図																												
コンクリートの品質等	スランプ	18cm以下 (コンクリート品質基準強度33N/mm ² 未満) 21cm以下 (コンクリート品質基準強度33N/mm ² 以上)		構造設計 標準仕様																												
	単位水量	kg/m ³ 以下																														
	空気量	% ~ %																														
施工計画	コンクリートの充填方法等	・ 打込・締め固め方法 () 打継ぎ部の処理方法 () 養生方法 ()		構造設計 標準仕様																												
その他の構造部材等	建築基準法への適合	建築基準法施行令第37条、第72条、第74条、第75条、第79条(鉄筋コンクリート組積造を除く)、第79条の3及び第80条の2の関係規定に適合																														
	型式認定番号	・ 住宅型式性能認定の認定番号 ()		認定書																												

建築物の名称		設計内容説明欄			設計内容
性能項目等	確認項目	項目	設計内容	記載図書	確認欄
2.耐震性	検証方法	地震力及び風圧力に関する検証	許容応力度計算等 限界耐力計算 その他()	壁量計算書 構造計算書	
	構造躯体	構造概要	・ 構造種別 (造) ・ 骨組形式 X方向 () Y方向 () ・ 計算ルート X方向 () Y方向 ()	計算書	
	構造計算	・ 計算条件 1-1 耐震等級(倒壊防止) 限界耐力計算 許容応力度計算等 C ₀ (二次設計、ルート3のみ) () 保有水平耐力 () × 必要保有水平耐力 令第81条ただし書 ()	構造設計 標準仕様 構造図		
	材料の仕様	・ コンクリートの種類 () 設計基準強度 (N/mm ²) ・ 鉄筋種類 SD295A SD345 SD390 高強度せん断補強筋 () ・ 鉄骨種類 SN材 SM材 SS材 ()	計算書		
	免震建築物	平成12年建設省告示2009号第1第3号による規定 免震建築物 ・ 同告示第2の該当する号 一号(四号建築物として仕様規定に適合) 二号(第6号に規定する構造計算 及び耐久性等関係規定に適合) 三号(時刻歴応答解析を行い大臣認定を取得、 及び耐久性等関係規定に適合) ・ 免震層、免震材料の維持に関する計画 免震材料等の維持管理に関する計画 敷地の管理に関する計画	構造計算書 矩計図 計画書 配置図		
限界耐力計算	安全限界変形	地上部の各階の安全限界変形の当該階の高さに対する割合が1/100以下であることを確認 等級2又は等級3であることを確認、かつ各階の安全限界変形の高さに対する割合が1/75以下であることを確認 該当なし	構造計算書 矩計図 計画書 配置図		
型式認定番号		住宅型式性能認定の認定番号 ()	認定書		

建築物の名称							
性能項目等	確認項目	設計内容説明欄				設計内容 確認欄	
		項目	設計内容				記載図書
4.維持管理・更新の容易性	専用配管	コンクリート内埋込み配管の有無	・排水管	なし	あり	仕様書 平面図 基礎詳細図	
	地中埋設管	地中埋設管上のコンクリート打設	・排水管	なし	あり	仕様書 平面図 基礎詳細図	
	排水管の性状等(継手及びヘッダーを含む)	排水管等の内面、たわみ、抜け防止	・内面等	平滑 (仕様) 肉厚の異なる管の接合なし 排水継ぎ手により排水管内面に高低差なし		仕様書 平面図 設備図 基礎詳細図	
	専用排水管	排水管の清掃措置・掃除口の点検措置	・便所	排水ますに隣接 洋風便器で取り外し可 掃除口 (露出 開口)			
			・台所	トラップ	掃除口 (露出 開口)	配置図 平面図 矩計図 設備図 系統図	
			・浴室	トラップ	掃除口 (露出 開口)		
			・脱衣室	トラップ	掃除口 (露出 開口)	平面図 矩計図 設備図 系統図	
			・洗濯機	トラップ	掃除口 (露出 開口)		
			・その他の部位()	トラップ 掃除口 (露出 開口)			
配管点検口	主要接合部等の点検措置	・排水管と設備機器の接合部					
		便所 (露出 開口)					
		台所 (露出 開口)					
		浴室 (露出 開口)					
		脱衣室 (露出 開口)					
		洗濯機 (露出 開口)					
手洗いカウンター (露出 開口)							
・給水管と設備機器の接合部							
便所 (露出 開口)							
台所 (露出 開口)							
浴室 (露出 開口)							
脱衣室 (露出 開口)							
洗濯機 (露出 開口)							
手洗いカウンター (露出 開口)							
・給湯管と設備機器の接合部							
便所 (露出 開口)							
台所 (露出 開口)							
浴室 (露出 開口)							
脱衣室 (露出 開口)							
洗濯機 (露出 開口)							
手洗いカウンター (露出 開口)							
・給水管のバルブ及びヘッダー							
場所 () 点検方式 ()							
・給湯管のバルブ及びヘッダー							
場所 () 点検方式 ()							
型式認定番号		・住宅型式性能認定の認定番号 ()				認定書	

建築物の名称		設計内容説明欄			設計内容確認欄
性能項目等	確認項目	項目	設計内容	記載図書	
6.省エネルギー対策	地域の区分	地域の区分	地域	仕様書	
	躯体・開口部の断熱性能等	適用する基準	外皮性能基準(計算)		仕様書 平面図 矩計図 計算書 部位詳細図
			外皮仕様基準		
		選択した基準に応じて、以下の項目に入力してください!			
		外皮性能基準(計算)			
		外皮平均熱貫流率等	・ 外皮平均熱貫流率(UA値) 設計値 UA値計算書による		
		冷房期の平均日射熱取得率	・ 冷房期の平均日射熱取得率(AC値) 設計値 AC値計算書による		
		外皮仕様基準			
		躯体の熱貫流率又は断熱材の熱抵抗 1、2に関してはいずれかを 入力	断熱材の施工方法 <input type="checkbox"/> 充填断熱工法 <input type="checkbox"/> 外張断熱工法又は内張断熱工法		
			屋根	() () (mm) 断熱材の熱抵抗値 (m ² ·K/W) 部位の熱貫流率 ² (W/m ² ·K)	
			天井	() () (mm) 断熱材の熱抵抗値 (m ² ·K/W) 部位の熱貫流率 ² (W/m ² ·K)	
	壁		() () (mm) 断熱材の熱抵抗値 (m ² ·K/W) 部位の熱貫流率 ² (W/m ² ·K)		
床	外気に接する部分 () (mm) 断熱材の熱抵抗値 (m ² ·K/W) 部位の熱貫流率 ² (W/m ² ·K)				
その他の部分	() (mm) 断熱材の熱抵抗値 (m ² ·K/W) 部位の熱貫流率 ² (W/m ² ·K)				
床面積5%以下の外気に接する床の緩和規定の適用 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
土間床等の外周部	外気に接する部分 () (mm) 断熱材の熱抵抗値 (m ² ·K/W) 部位の熱貫流率 ² (W/m ² ·K)				
その他の部分	() (mm) 断熱材の熱抵抗値 (m ² ·K/W) 部位の熱貫流率 ² (W/m ² ·K)				

建築物の名称					
性能項目等	確認項目	設計内容説明欄			設計内容 確認欄
		項目	設計内容	記載図書	
6.省エネルギー対策	躯体・開口部の断熱性能等	外皮仕様基準 開口部の断熱性能等 2 付属部材等とは、紙障子、外付けブラインド等開口部に建築的に取り付けられるものをい 3 「ひさし、軒等」オーバーハング型の日除けで、Z Y1×0.3のものを行います。 ・ 開口部比率の区分 区分 (い) (ろ) (は) (に) ・ 開口部の熱貫流率(U値) (W/m ² K) ・ 2%緩和適用(窓のみ対象) あり ・ 開口部の日射遮蔽仕様 ・ 4%緩和適用(天窗以外の窓のみ対象) あり 建具の種類若しくはその組合せ又は付属部材(2)、ひさし、軒等(3)の設置			仕様書 試験成績書 平面図 矩計図 建具詳細図 開口部計算U値資料
	結露防止	外皮性能基準(計算)・外皮仕様基準 結露の発生防止対策 ・ 防湿層(対策の有無と部位を記入してください。) あり (屋根 天井 外壁 外気に接する床) () なし (屋根 天井 外壁 外気に接する床) () ・ 通気層 あり (屋根 外壁 バルコニー) なし (屋根 外壁 バルコニー) () ・ 防風層 あり (屋根 外壁) () なし (屋根 外壁) () 熱橋部の断熱補強対策 設計施工指針(附則)における構造熱橋部の基準と兼用となります。 ・ 断熱補強部位 () () () () () () () () () () () () ・ 断熱材の種類 () 断熱材の施工の範囲 ・ 鉄筋コンクリート造等 内断熱工法の場合 断熱材をコンクリート躯体面に全面密着等の措置あり			仕様書 矩計図 透湿抵抗比計算書 内部結露計算書
7.住宅の規模	住宅の面積	・ 住宅の専用面積 ()m ² ・ 40m ² 以上ある階 () ()m ² () ()m ² ・ 階段部分の面積 ()m ² うち階段下収納等面積 ()m ²			求積図 平面図 計画概要書
8.維持保全の方法		・ 期間()年以上 その他の基準への適合			維持保全計画書
9.資金計画		建築に要する費用の設定 維持保全に要する費用の設定			認定申請書
10.その他					

変更履歴

- HP住-079-1 ・「5-1省エネルギー対策等級」窓及びドアの熱性能 新JISにおける計算U値の選択を追加
(H23.3.22新JIS制定による修正)
 - ・5-1 住宅の省エネルギー基準の解説刷新に伴う変更
 - ・設計者支援<5-1表記方法・プルダウンメニュー等の全面改訂>

- HP住-079-2 ・免震構造、その他の項目を削除
 - ・該当しない項目の記載不要の追記

- HP住-079-3
(ver.20140212)
 - ・評価方法基準の改正に合わせた修正
 - ・5-1を断熱等性能等級に変更

- HP住-079-4
(ver.20150324)
 - ・外皮平均熱貫流率、冷房期の日射熱取得率の記載方法を変更

- HP住-079-5
(ver.20150414)
 - ・外皮平均熱貫流率、冷房期の日射熱取得率の記載方法を修正

- HP住-079-6
(ver.20160317)
 - ・評価方法基準の改正に合わせた修正(6.省エネルギー対策)
 - ・6.省エネルギー対策の項目において透湿抵抗比の計算表を削除

- HP住-079-7
(ver.20160401)
 - ・劣化対策の確認項目に、「その他の構造部材等」の項目を追加
 - ・不具合の修正

- HP住-079-8
(ver.20170106)
 - ・誤記の修正